

自民党

埼玉県第13選挙区支部

三ツ林ひろみ通信

2025年6月号

物価高から国民の暮らしを守る

ごあいさつ

地元のために、国のために
期待に応えてまいります。

三ツ林ひろみです。日頃より皆さまにお支えいただき、ありがとうございます。

自民党は物価高から国民の暮らしを守る政策を打ち出しています。いま、地元を歩いて皆さまとお話する中で、最も切実なのは物価高の対策を何とかしてほしいということ。コメ、ガソリン等々、生活が厳しいという悲鳴にどう対応するかは喫緊の課題です。

また、年金や医療に関する不安や景気対策、本場に賃金は上がるのか、消費税はどうするのか、などという声も耳にします。

こうした国民生活の現実に向き合い、一方では未来に責任をもって、国民の切なる願いに対処していかなければならないと考えます。

農業を守ると同時に
食料品やエネルギー価格
を抑制

コメの価格高騰については、市場価格の改善が進んでいます。昨年比約2倍の水準に高騰している米価に対して、政府備蓄米の放出、小売業者への特設随意契約も行き、加熱するマーケットは落ち着きを取り戻す方向に進んでいます。

コメの価格の安定には生産基盤の安定が必要です。食料の安全保障の確保や農業・農村の多面的機能の発揮させるため、先人たちのたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を健全な状態で次世代に継承していく責務があります。

ガソリンについては、「燃料油価格の定額引下げ措置」等により価格引き下げを段階的に進め、リットル当たりのガソリン・軽油

価格が10円下がり、ロシアによるウクライナ侵略が始められる前と同程度の水準になりました。

7月から9月の電気・ガス料金の支援に対しても2881億円の措置、あわせて、特別高圧やLPガスを使用する中小企業や病院なども支援できるように、重点支援地方交付金を1000億円積み増しました。地域の実情に応じた物価高対策を後押ししています。

物価高対策としては、いわゆる「103万円の壁」の見直しにより、1・2兆円規模の所得税減税を実施。年末調整から約5600万人を対象に1人当たり2・4万円の加算給付を行っています。これは5月までにはほぼ全ての自治体で支給が開始されています。

また、地方自治体の創意工夫によりあらゆる施策に活用可能な重点支援地方交付金を6千億円措置し、地域の実情を踏まえた生活者支援を可能としています。

将来の不安への備え
高額療養費制度は
必ず守ります

医療、特に高額療養費制度についてですが、限度額の引き上げ、すなわち患者の自己負担増について、3月に石破茂総理は見送りを表明しました。秋までに改めて方針を決定するという事になっていますが、私は引き上げには断固反対です。いざという時の国民の命を守る、国民みんなで支える皆保険制度の下、わが国が世界に誇るべきセーフティネットであるの思いからです。これからも、しっかりと取り組んでまいります。

年金については、与野党が法案

三ツ林 裕巳 前衆議院議員・医師・医学博士

昭和30年9月7日 埼玉県幸手市生まれ
埼玉県立春日部高等学校卒業
日本大学医学部卒業
春日部市立病院、志木市立救急市民病院勤務を経て、
日本大学医学部客員教授
日本歯科大学特任教授(同名誉教授)
埼玉県バレーボール協会会長
葛西用水路土地改良区理事長
埼玉県土地改良事業団体連合会会長
自由民主党埼玉県第13選挙区支部長

これまで、
内閣府副大臣(拉致問題、地方創生、少子化対策、子ども・子育て支援、健康医療戦略、孤独・孤立対策、科学技術イノベーション政策等担当)、厚生労働大臣政務官、衆議院厚生労働委員長、自由民主党副幹事長、国会対策副委員長、衆議院議院運営委員会理事、
衆議院議員(小選挙区当選4回)等を歴任

柔道初段、剣道三段、詩吟八段

いのちを守り、
未来を創る。

日本大学医学部
客員教授・医師
自由民主党埼玉県第13選挙区支部長
元内閣府副大臣

三ツ林
ひろみ

自民党

消費税減税のリスク
社会保障の財源はどこ？
国民の安心が犠牲に

消費税は、貴重な社会保障の財源であり、また地方の歳入の欠損が生じることを考えれば、引き下げはまったく非現実的な提案であると考えます。国民民主党は5%

成立への必要性を共有し、会期末に年金改革法案が成立しました。そのポイントには四つ。①社会保険の加入対象拡大②在職高齢年金制度見直し③遺族厚生年金見直し④賃金上昇に対応し年金を国民年金に使うということではなく、将来の年金不安を解消する内容であることを、しっかりと政府は公報する必要があります。

引き下げると言っていますが、これだと15兆円の税収がなくなり、立憲民主党は食料品の消費税0%で一年限定引き下げ、これで5兆円減ると試算していますが、戻すときは物価分とダブルで負担がかかります。明確な財源を提示しないのは無責任です。

国政においては自民党が少数与党の厳しい状況にある一方で、地元、埼玉県十三区においても、与党議員不在の中、課題は山積しています。

いまは私も、自民党の選挙区支部長として、多くの皆さまと対話し、皆さまの声を糧にして、日々活動をしているところです。これからも、党勢の拡大と政策実行に、地元、現場の声を届けるべく全力を尽くしてまいります。

前衆議院議員・医師
三ツ林 ひろみ

三ッ林ひろみ 埼玉13区を東奔西走



JA埼玉県中央会の坂本富雄会長へ埼玉県土地改良事業団体連合会会長としてごあいさつ。令和のこめ騒動に翻弄される稲作農家ははじめ生産者の現場の声を伺う



福岡資磨厚労大臣と会談。地域医療の現場の声を伝える

「国民の不安に応える自民党」

今夏の参院選、与党で過半数を目指す!!

埼玉県選挙区で2議席獲得を目指して

古川俊治 参院議員を公認、

矢倉かつお 参院議員を推薦



白岡市役所火災の現場を視察。深刻な被害状況を目の当たりにして、復旧には国の支援が必要と強く認識。後日、古川俊治参院議員とともに総務省に説明に赴く



鷺宮運動公園ハウスティア2025に参加、愛すべき犬たちを前にあいさつ。東部消防組合音楽隊の演奏も素晴らしいものでした



選挙区内各地で看板の設置をお願いしてまわっています。(写真は久喜市菖蒲地区での取付工事の様子)



地域で安心して分娩できる医療施設の存続を守る議員連盟に出席。出産の保険適応とする国の方針が現場の産科医療を撤退に追い込んでいく中でよりよい解決策を協議



自民党宮代支部総会にてあいさつと講演。東武動物公園駅西口への病院誘致の取り組みを報告



蓮田市ロータリークラブ主催ワンニャンフェスティバルであいさつ。大切な伴侶としてのペット、動物愛護、人との共生、しっかり考えていきます



幸手市さくらマラソン大会。市からの要請があり、幸手市医師会の瀬川裕史会長とともに救護所医師としてランナーを見守り



臓器移植を考える議員連盟総会。小児の心臓移植の待機期間がわが国では5年、米国は1カ月です。さらなる予算の充実を目指して取り組みます



南埼玉郡市医師会、北葛北部医師会による地域医療について考える講演会。地域社会の安心・安全の礎となる医療体制の未来について講演



久喜市栗だし市の開会式にて挨拶。母も祖母も栗橋出身です。ふるさとが賑わうことはこんな嬉しいことはありません



伊奈町のバラまつり開会式で大野元裕県知事、大島清伊奈町長、関係者と共に記念撮影



建設埼玉葛地区本部の定期大会にてあいさつ。建設国保への国庫補助は必要であると考えます

自民党埼玉県第十三選挙区支部 三ッ林ひろみ事務所

- 【幸手事務所】〒340-0161 幸手市千塚 490
TEL : 0480 (42) 3535 FAX : 0480 (43) 3535
- 【杉戸事務所】〒345-0025 北葛飾郡杉戸町清地 2-16-7
TEL : 0480 (38) 6963 FAX : 0480 (38) 6918
- 【蓮田事務所】〒349-0104 蓮田市緑町 1-9-5
TEL : 048 (812) 7131 FAX : 048 (812) 7161
- 【久喜事務所】〒346-0003 久喜市久喜中央 1-6-1-1F
(現在、開設準備中)

三ッ林ひろみの活動を発信中



- ・ホームページ
- ・Facebook
- ・Instagram

(埼玉県東部地区)

埼玉13区

久喜市 蓮田市
幸手市 白岡市
伊奈町 宮代町
杉戸町

